



# 芽生え

第23号

越谷地区更生保護女性会だより

越谷市福祉部長 立澤 悟氏



## 地域共生社会の構築に 向けて

越谷市福祉部長 立澤 悟

越谷地区更生保護女性会の皆様には、日頃から更生保護事業にご尽力を賜り、厚く感謝と敬意を表します。

福祉の現場では、来談者（以下「要援護者」）との初めての面談で大切な原則がいくつかあります。①傾聴②受容③非審判的な態度などです。いかに要援護者の話に耳を傾け、心情や状況を受け止め、決して批判的な態度で接しないといったことです。

これらは、更生保護事業に携わる専門職や保護司の皆様、そして更生保護女性会の皆様が、要援護者と接する上でも共通する原則ではないかと思われます。そして、要援護者が再び犯罪を起こさないという決意と、これから生き方の自己決定を支援していくことが最も重要です。このような地域での包摵が、共生社会を実現するための要諦と考えます。私事ですが、本年3月に退職を迎えます。3年間、更生保護女性会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。懐かしい先輩との邂逅もありました。皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈りいたします。



## 総会・全体研修会

5月21日、中央市民会館劇場に於いて平成30年度総会が、立澤福祉部長、関口保護司会長をはじめ大勢のご来賓の皆様にご臨席を賜り開催されました。

正会員260名中253名（内委任状111名）の出席のもと、岡崎会長を議長として、各事業報告をはじめ本部役員改選等の6議案が、原案通り満場一致で承認されました。

総会終了後、全体研修では、越

谷市地域包括ケア推進課地域包括総合支援センター主任浅野郁美氏・看護師小川桃子氏による「認知症について」の講演をいただきました。

看護師小川桃子氏による「認知症について」の講演をいただきました。



### 全体研修副題 『認知症サポータ－養成 講座及び認知症に関する市 の施策について』

一、予防には適度な運動・バランスの取れた食生活・趣味や社会参加が有効。



二、早期発見・早期治療  
進行を遅らせる・症状の緩和薬  
有

### 三、認知症の人への対応

驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない・見守り、余裕ある対応・目線を合わせ優しく声掛け等が大切。  
身近な課題を、スライド・寸劇をとりいれた講話に涙と笑いで聴き入るばかり……  
偏見を持たず、当人や家族に対し温かい目で見守る応援者（オレンジリング）となりました!!



私は、更生保護女性会の意義や活動を、漠然として掴めぬままに入会していました。

今回、新会員研修会に参加させていただき、更女会の歴史や制度、各地区の活動などを色々と学ばせていただきました。更生保護施設や矯正施設への支援、子育て支援、社会を明るくする運動など、多岐にわたり地域に根ざした活動をしている事を知る事ができました。

昨今、世の中が急速に変わってきています。虐待や未成年者の犯罪、オレオレ詐欺など悲しい事件が多発しています。その中で、自分にも何かできる事があるだろうかと考える良い機会になりました。更女会の活動を通じて、少しでも社会の為になる事が出来ればと思います。

## 新会員研修会に 参加して

大相模支部 染谷利枝

私は、更生保護女性会の意義や活動を、漠然として掴めぬままに入会していました。

今回、新会員研修会に参加させていただき、更女会の歴史や制度、各地区の活動などを色々と学ばせていただきました。更生保護施設や矯正施設への支援、子育て支援、社会を明るくする運動など、多岐にわたり地域に根ざした活動をしている事を知る事ができました。

昨今、世の中が急速に変わってきています。虐待や未成年者の犯罪、オレオレ詐欺など悲しい事件が多発しています。その中で、自分にも何かできる事があるだろうかと考える良い機会になりました。更女会の活動を通じて、少しでも社会の為になる事が出来ればと思います。

## 多摩少年院 訪問研修に参加して

出羽支部 平川好子

平成30年9月3日、参加者24名で多摩少年院（八王子市在）に行つて参りました。

この少年院は創立95年で少年院としては一番古い施設といわれているようです。

バスは住宅地の中を進んで行きやがて長い坂に沿って走り、次に急な長い坂を登りやっと玄関に辿り着きました。この坂のことを、出迎えて下さった石原教育調査官から、院生に言わせると入院する時は地獄坂で、出院する時は極楽坂とか。施設内を案内されている時に説明して下さいました。

まずは、会議室に案内され、概要の説明を受け、院内へと向かいました。施設の中からは院生達の元気な声が聞こえたり、廊下の所々には絵画や書などの作品が掲示され、どれも素晴らしいもので、また真剣に学習している姿も見られました。

院内の見学を終え会議室に戻り院生の入院から出院までを収録したDVDを鑑賞し、感動して思わず拍手する場面もありました。

終りに質問事項として、どんな

犯罪で入院しているのか？（ $\frac{1}{4}$ が詐欺罪である。）20歳になつたら

出されるのか？（1年間は教育期間として確保できるのですぐに出されない。）住宅地の中にあるが近隣の住民との関係は？（住民との交流は大事にしている。たとえば使用しない時の運動場や体育館家庭寮の施設は、近隣住民の運動会やスポーツの練習、また会議等に使つていただいている。）との

ことでした。

そして最後に更生保護女性会の皆様には感謝しているとの言葉をいただきました。



## 国立武藏野学院 運動会に参加して

新方支部 阿部周子

10月10日岡崎会長他2名で参加いたしました。

グランードには、父兄や関係者の方が多数出席され、学院長の挨拶、ラジオ体操に続き、競技が始まつたが、院生の目の輝きの中に厳しさが見受けられ、どの種目も精一杯競い合い、ゴールした後の清々しい姿は、とても印象的でした。

近隣の大門小学校、大門幼稚園児の遊戯、美園中学校との交流種目等々。とりわけ大門幼稚園児の遊戯には、院生はじめ見学者から盛大な拍手が送られました。

私も来賓種目として「豆移植」競技等に参加。院生と隣り合って挑戦し、お昼休みには院内の見学にも参加。今年は開院百年目のこと。敷地は東京ドームの4個分もあり学習棟等の他に寮棟が6棟あるが、現在は4棟を使用中である。1棟に8名在室。その庭には山羊や鶏が飼育されておりました。木々に覆われたその先には田畑が広がり、米や野菜の栽培も院生が行い、日々の食卓に並ぶそうです。

町中とは思えない静かな環境のもと、寮長先生方との日々の生活中で家庭の温かさを感じ、規律ある生活を過し、希望と勇気を持つて誘惑に負けず自立されていかれることを願つて帰路につきました。

## 保護司・更生保護女性会員・BBS会員連携 強化研修出席報告 (BBS会との連携について)

増林支部 土川博子

9月4日さいたま保護観察所にて開催された標記研修会は、

「平成26年3月に決定された更生保護ボランティアの協働に関する三者宣言」を踏まえて3団体の連携強化を図り、地域における更生保護の諸活動を充実強化することを目的として県内の保護司等三団体員が出席。今回はBBS会・その活動を知ることになりました。

一、県内BBS会は20年前より減少しているが、ともだち活動・グルーブワーク（レクリエーション）活動・社会貢献・社会参加活動等を実施している。さいたま大宮地区・所沢地区・埼玉大学から清心寮・こども食堂・児童養護施設等への支援や学業支援等の活動紹介。

二、連携事例として、さいたま大宮地区・所沢地区BBS会では保護司・更女会と合同のグループワーク活動を発表された。その後、4グループに分かれてBBS会に協力して欲しい行事・活動や連携活動上の問題点・疑問等の意見交換が行われました。当地区にもBBS会の誕生を!!

## 第44回市民まつり パレード・模擬店へ参加



10月28日(日)の市民祭りには、恒例のパレード(越ヶ谷小学校から市役所まで)に66名が参加。

模擬店には、各支部から手作りの品を含めて前年以上の出品がありました。

売上金七三、三〇〇円より

(諸経費を除き)

○市・社会福祉協議会 “愛の詩”

○市・福祉課を介して東日本大震災への支援金

各々、二万円を寄付致しました。模擬店への参加は、東日本大震

災への支援金

災の復興に少しでも、お役に立つことが出来ればと始めて七年目です。ご協力ありがとうございました。

一、保護司会、BBS会、地域の各種団体との連携を深めるために、どのような努力や工夫をしていますか。

## 東ブロック研修会参加報告

越ヶ谷支部 村松幸子

平成30年9月26日、春日部文化会館に於いて、73名参加の標記研

修会が開催されました。本橋恵子更女連盟会長、石川良三春日部市長、さいたま保護観察所押切久遠所長の挨拶の後で、同所長の「良い知らせと悪い知らせ」の講話がありました。

発達段階は、その両方を運んでくる。苦悩・不安は多様な見方をするとき心の目が拡がる。悪い知らせには、心のバランスをとりプラス思考に持ってゆく。人間は自



由過ぎると不安になる。安全基地があるから冒険もでき、戻ることもできる。相手のいいなりで、非行に走る子供が多いが、相手との関係を大事にしながら主張的行動を殖やしていくとよい等のお話は、心にとても響きました……。

ビデオ「あした咲く」を視聴後、午後よりグループ別の討議では、更生保護の心を広める三つのテーマについて話し合いました。

一、保護司会、BBS会、地域の各種団体との連携を深めるために、どのような努力や工夫をしていますか。

学校行事の参加、子育てサロン広場への参加、児童クラブへの贈呈、又は図書カード贈呈、更女のPRに『学校だより』広報にのせていただく。保護者会の講演、市民まつりへ参加、保護司の方とのパトロール。地域の行事に参加。

二、新しい会員の勧誘等地域で抱えている問題について

友人に勧める。親→子→嫁へ(一番難しい課題でした……)

三、「愛の募金」について

自治会等。日頃から地域との連携・コミュニケーションが大事である。

その後、全体会で各班から発表。対策を共有し実り多い研修でした。

## 県連盟主催 代 表 者 実 務 研 究 会

高橋道子

2月21・22日と秩父長瀬町の長生館に於いて標記研究会が開催され、岡崎会長と出席させていただきました。

一日目、さいたま保護観察所の押切久遠所長の「物語にみる更生保護」と題しての講話。沢山読まれた書物のお話。ものの見方の誤りが犯罪や非行に走ってしまう。

親の価値観の違いもあるが見方を見直し、生き方を変えること。「偉大な人は、人間的に情け深い。」そのお言葉は私の胸に強く印象づけられました。その後、ブロック別研修協議会となりました。

二日目、ミニ集会指定地区中間発表。子育て支援地域活動指定地区中間発表。押切所長の講評では、「皆さんお元気に活躍され自治体とも連携をもち、更生保護女性会の活動は認められ浸透しています。今の活動が役立っているかどうかと不安に思われても、後々、大変役に立つことになり、子の心にも響き、親の心にも響くことになります。」とのことでした。

今後の活動を大切に行つていって下さい。」とのことでした。

## 第65回埼玉県更生 保護大会に参加して

大相模地区 浅見栄子

11月16日（金）埼玉会館大ホールにて開催された標記大会に越谷地区より岡崎会長と受賞者12名で出席しました。顕彰式典では、受

賞された皆様の晴れやかなお顔が並ばれ、心よりお慶び申し上げました。続く講演ではNPO法人「再非行防止サポートセンター愛知」の理事長高坂朝人氏より「自分と未来は変えられる／再非行を減らし、笑顔を増やしたい」と題した講演では、高坂氏自身も逮捕・少年院歴があり、生活が乱れていたが23歳時妻が妊娠したことを機に、妻・子どもを不幸にしたくないと思い、本気で変わるために地元を離れ、人間関係を変えた事によって立ち直れた。このことから平成26年に、地元を離れ、自分を変えたい希望がある少年をサポートしたいと「再サポート」を設立。大切にしている事



## 中堅会員研究協議会に 参加して

増林支部 土川博子

11月29日さいたま共済会館で開催された標記協議会に越谷地区から12名で参加いたしました。

日程の前半は、中央研修参加者2名から「地域を編む等」について、地域の人々と関わり・繋がる・情報交換をする中でほっとけないと志を同じくする仲間と一緒に活動することが、支え合う社会の為に、自己成長・友達作りに繋ると。次いで関更女連盟研修参加者から全体会議①地域との連携・協働活動②再犯防止における更女の役割③講話があり、更女会活動は「ひとりひとりが生き易い世の中になるために」支えあいそっと寄り添うもの。限定された活動ではない。更女会活動は、自ら発信すること

が大切等報告された。

後半は、さいたま保護観察所・押切久遠所長の「心の場所・さいたま」と題して八項目に分かれた無

力感」で、非行少年、うつ、ひきこもりなどの人がそこから脱するために、「存在を認められること」「無二の存在」の項で、孤立させない。寄り添う人が有る=その人にとって、かけがいのない大切な存在。与えられるのみでなく、自分が他者にとって或いは社会にとって何らかの役になっている。他の誰にも替わることが出来ない存在と思えることと語られた……人は心の生き物であり、触れ合うことが心の原点であると言われますが、世代を問わず社会的孤立問題が報じられて久しい今日、地域を編む更女会活動・協働活動の実践を思い、帰途につきました。

## 平成30年度 愛の募金報告

### 募金総額

1,405,200円

### 内訳

○県連盟納入金

350,000円

○地区活動費

914,680円

○支部活動費

140,520円

各自治会、企業、  
保護司、会員の皆様  
方へ厚くお礼を申し  
上げます。

ありがとうございました。



## 更生保護法人 清心寮を訪問して

增林支部 中村絹子

去る12月10日、岡崎会長に引率され18名で参加させて頂きました。今回初めて施設訪問の機会を頂いたのですが、寮まで歩く道すがら知らない場所へのドキドキ感で不安な気持ちでした。寮生の方々は、どんな思いを持って、初めて清心寮へ帰って来るのでしょうか……。到着すると施設長の白石さんの笑顔が待ってくれておりホッとしました。四階建ての施設はきれいに磨かれて、案内された集会室で27年前の設立当時の苦労から現在に至る迄の近隣住民達との交流を通していかに努力されて来たか等話を聞き入ってしまいました。そ

寮生達は朝食を頂き、仕事場へ向かい、帰宅すると夕食が待つている。そんな普通の生活が出来るのは、部屋は二人用と一人用とある。

その後、寮内を案内して頂きました。やはり生活スペースが一番気になりましたが、明るい食堂には、一人一人の名前が書かれた膳に手作



平成30年12月10日

越谷地区更生保護女性

会長 岡崎 和子 様

更生保護法人清心寮

理事長 清水 義憲

時節となり懐ただしい季節となっておりますが、今年は再三の大雪や台風や地震の影響等はなお残っており自然災害多発に対する備えの声振りの中、貴台におかれましてはお健やかにお過ごしのことと存じます。

日頃から施設への深いご支援とご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

この度は、昨年に引き続きご寄付(多額の金員)を賜りましたことに対しまして、衷心より感謝申し上げます。

取り急ぎ、心からのお礼状及び領収書を送付させていただきますので、よろしくお取り計らいお願いいたします。

お寄せいただきました心のこもったご寄付につきましては、被保護者(寮生)の社会復帰を促進するために有意義に活用させていただきたいと思ひます。

お陰さまで、被保護者に対する面から温かいご飯をいっぱい食べ、一日のスタートを切らせ、力いっぱい仕事に打ち込ませることにより、早期の自立を促しているところでありまして、今回のご配慮に対しまして、あらためて心から感謝申し上げます。

被保護者の更生の決め手となります就労状況も世相を反映しまして、厳しい状況ではありますが、本人たちの努力に加え、役職員一丸となり自立のために継続努力をしているところであります。

今後とも、更生保護法人清心寮はもとより、埼玉県の更生保護事業の充実発展のため、一層のご支援とご教導を賜りますようお願い申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、時節柄、貴台及び会員の皆様におかれましてはお身体にはくれぐれも留意の上、ご健勝にてお過ごし願います。

本当に有り難うございました。

祝成人

9名が成人式を迎えることになりました。例年にならい、お祝いの言葉と記念品（財布）を担当される保護司さんを介して贈り、後日、大変喜んでいたと感謝されました。

全体会員研修会

○何回でもやり直すこと出来る。  
○人は少しづつでも変わり得る。  
○保護司の在り方が素晴らしい。  
胸が一杯になった。心温まる。  
感動したと大変好評でした。

三、感想等は？

- V D 「ディア・フレンド」を視聴。内容は妻を亡くし世間に背を向けた頑なな老人と保護観察中の少年の交流を軸に、反発し合った出逢いから友情が芽生えるまでを描いた上映時間90分のドラマ。

視聴後、アンケート・感想文を提出していただきました。

一、老人福祉施設へボランティア経験有り13名。無し27名。その他。

二、感動場面・心に響く場面は何?

○最終場面の海辺の老人と若者。

○老人と孫の場面。

○車椅子を黙って押す老人と若者。

## ミニ集会報告

**越ヶ谷支部**

11月5日

健康なればこそ!ということでお越谷市推進の楽のび体操を実践。ウォーミングアップからセラバンドを使つた筋力トレーニング・歌を唄いながらの体操・クールダウン等参加者全員がメニューを達成し、誰でも無理なく気軽に取り組めると好評でした。

**出羽支部**

11月7日

次第に沿つて、地域の関係団体の方々から、それぞれの立場で状況報告「振り込め詐欺、母子家庭の現状、空き家の増加、担当ケースの現状等」をお聞き出来ました。特に横のつながりが大切との意見も出て参加者一同問題点を共有し有意義でした。

**大相模支部**

11月10日

大相模中学校浅賀公彦校長から同校の取組み「健康・教育の推進と部活動での活躍」の成果を話されるとともに、38年間の教師生活を通して「子どもは、親の言うように育たない・親のするように育つ。最も身近な環境に適応するものだ」とのお話は印象的でした。

**大沢支部**

11月12日

会員と保護司の合同研修を参加者34名で大型バスを活用して藤岡ダルクに訪問研修をしてきました。

**蒲生支部**

11月26日

椎名俊行埼玉県警察署O-Bの方の講話で、平成20年ころから息子・孫・市役所職員等を語つてのオレオレ詐欺が多発。最近は医療還付金、投資詐欺の被害が激増している。

被害者は、高齢・定年前後の方が多い由。要注意!!

**桜井支部**

11月26日

地域包括支援センター小松・赤柴氏から○物忘れと認知症の違い。認知症は脳の働きが悪くなり、記憶障害・考え方・判断力の低下等脳の病気であり、早めに医師に相談することが大切との指摘でした。



**荻島支部**

12月3日

次第に沿つて、地域の関係団体の皆様から活動状況等お話をいただきその後に意見交換。

自治会長さんより会員数・更生保護支援マーク王などの質問があり、会員から駐在所員に質問する等活動的な話し合いが持たれました。

**増林支部**

2月7日

DVD「更生保護・立ち直りを支える地域のチカラ」を視聴後、江原・中村保護司さんから具体的な支援方法等をお聞きして話合い。

「守秘義務があり、自宅での面接方法・時間を工夫。生活・仕事の助言指導等をして支援している。

更女会の方々には、彼等を地域住民の一人として温かく受け入れて頂きたい。」とのお話を、今後の更女会活動・連携活動を考えました。

と話を合いました。

**大袋支部**

12月8日

川島保護司さんから刑務所を出所した保護観察対象者に対して仕事をや生活相談などに応じて一緒に話をお聞きした後、会員同士で更女会活動について話し合いました。

考え方直りを支援している等のお話を聞きした後、会員同士で更女会活動について話し合いました。

**新方支部**

2月13日

「ディア・フレンド」ビデオ視聴後に話合い。人とのつながりが大事。真心を持って接すること。温かな心・尊敬の念を持つことから会話が弾み、居場所が出来る。地域で保護司・更女会・民生委員それぞれの活動が判った等の話から、地域にあって、更女会員として、温かな声掛け・こまやかな気遣いを持ち、必要とされる人になろうと思いました。

司を兼務)  
平成8年4月より、会長に就任  
平成9年秋、藍綬褒章受章（保護）



平成16年3月に、会長を退任  
同 平成18年8月6日ご逝去  
当会のミニ集会・50周年記念等の事業の折々に、示唆・励みを頂く。  
私たち後進を見守り、当会の発展にご尽力いただいておりました。  
心よりご冥福をお祈り申上げます。

敬  
弔

川上 由 様

平成18年8月6日ご逝去

## おめでとうございます

第65回埼玉県更生保護大会

埼玉会館（H30・11・16）

○関東地方更生保護委員会委員長感謝状  
染谷登土子（大沢）

○さいたま保護観察所長感謝状

木内 愛子（越ヶ谷）、伊藤 和子（大沢）、  
小川 和子（桜井）、須賀とみ子（増林）、  
山崎 要枝（大相模）

○県連盟会長表彰

阿部 周子（新方）、飯塚 禮子（増林）、  
越川エツ子（大相模）、大熊 松江（蒲生）、  
野口 洋子（出羽）、坂巻しげ子（荻島）

第24回越谷市地域安全推進大会表彰

越谷市中央市民会館（H30・10・3）  
浅見 栄子（大相模）、鈴木 梅乃（出羽）、  
平田 妙子（越ヶ谷）、入沢 秀子（増林）、  
坂巻しげ子（荻島）

## 新 年 会

31年1月21日、ギャザホールにて、ご来賓も参加され、各支部自慢の清興が続き、和やかで楽しいひと時を過ごしました。



## 2019年度行事予定

一、第1回役員理事会  
4月22日 中央市民会館

4月26日

二、さいたま拘置支所訪問

三、総会・全体研修  
5月20日 中央市民会館劇場

4月26日

四、駅頭広報活動  
7月1日 市内8駅

4月26日

五、社明大会  
7月末 定 中央市民会館劇場

4月26日

六、親業講演会  
7月未定 中央市民会館劇場

4月26日

七、矯正施設訪問研修  
9月2日

4月26日

八、東ブロック研修会  
9月27日 岩槻蓮田（未定）

4月26日

九、第45回市民まつり  
未定

4月26日

十、第66回埼玉県更生保護大会  
11月19日 埼玉会館

4月26日

十一、新年会  
1月20日 ギャザホール

4月26日

## 編 集 後 記

芽生え紙面には、活動に携わる皆様の思いが託されます。  
平成から新元号へ更に繋げて、ご協力ありがとうございました。